

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度	科目名	教養1
<b>科目基礎情報</b>					
開設学科	ゲームクリエイター科四年制	コース名	ゲームビジネスコース	開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	45時限
単位数	3単位			授業形態	講義
教科書/教材	テキストはありません。必要に応じて補足資料を用意します。				
<b>担当教員情報</b>					
担当教員	大島 和美	実務経験の有無・職種	有・人材育成コーディネーター		
<b>学習目的</b>					
<p>プレゼンテーション力は、ビジネスシーンはもちろん、学校でも私生活でも必要なスキルです。</p> <p>プレゼンテーションとは、相手を理解し、相手の事を考え、相手にとってのメリットを伝え、相手の気持ちを動かす事です。</p> <p>では、相手に不快を与えず、自分の提案や願いを受け入れてもらい、相手に承認してもらうには、どのようにすればよいのでしょうか。</p> <p>この学習では、様々な場面で役に立つ重要なスキルであるプレゼンテーション力を養います。</p>					
<b>到達目標</b>					
<p>学習を通し、相手を理解し、相手の事を考え、相手の気持ちを動かせるプレゼンテーションが出来るようになります。</p> <p>併せて、相手に不快を与えず、自分の提案や願いを受け入れてもらい、相手に承認してもらう事も出来ます。</p> <p>様々な場面で役立てられる様、プレゼンテーション力を養いましょう。</p> <p>また、グループワークを通してグループの中での在り方や、役割についても学びます。</p>					
<b>教育方法等</b>					
授業概要	<p>プレゼンテーションとは何かを学び、実践していきます。</p> <p>プレゼンテーションは発表を行います。発表して終わりではありません。</p> <p>何度もリハーサルと発表と振り返りを重ねて、プレゼンテーション力を養いながら、完成度の高いプレゼンテーションを目指します。</p>				
注意点	<p>グループワークが多くなるため、グループの中でのあり方も考え、グループへ惜しみない協力をしましょう。</p> <p>※授業時数の4分の3以上出席しない学生は定期試験を受験することが出来ません。</p>				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	70%	科目終了時に実技試験を行います。		
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 (口頭・実技)	20%	学習成果が出ているかを評価します。		
	平常点	10%	授業態度によって評価します。		
<b>授業計画 (1回~12回)</b>					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	プレゼンテーションとは	プレゼンテーションとは何か 第一印象の重要性を理解出来る 好印象な他己紹介が出来る			
2回	プレゼンテーションの基本	ゲーム形式の演習で話し方の工夫と聞き方の工夫が出来る			
3回	プレゼンテーションの作成	課題1①: 「今、食べるべき逸品の紹介」 テーマの決定、内容構成の仕方、伝える技術を理解出来る			
4回	プレゼンテーションの作成	課題1②: プレゼンテーションを作成する 内容構成の仕方を理解し活用出来る			
5回	プレゼンテーションの作成	課題1③: プレゼンテーションを作成する 伝える技術を理解し活用出来る リハーサルが出来る			
6回	プレゼンテーションの発表	課題1④: プレゼンテーションの発表と振り返り			
7回	プレゼンテーションの再発表	課題1⑤: プレゼンテーションの再発表と振り返り			
8回	プレゼンテーションの作成	課題2①: 「今、知っておくべき事(ゲーム業界)」 テーマの決定、内容構成が出来る			
9回	プレゼンテーションの作成	課題2②: プレゼンテーションを作成する 前回課題の改善点を取り入れ作成出来る			
10回	プレゼンテーションの作成	課題2③: プレゼンテーションを作成する 前回課題の改善点を取り入れ作成出来る			
11回	プレゼンテーションの作成	課題2④: プレゼンテーションを作成する 前回課題の改善点を取り入れ作成しリハーサルが出来る			
12回	プレゼンテーションの発表	課題2⑤: プレゼンテーションの発表と振り返り			